



並木中等story

令和5年3月22日号

3月22日に実施した終業式での校長挨拶の抜粋です。

終業式に当たり、人の永遠の課題、悩みの三つの対応方法について話をします。

一つ目は**陰と陽を見なさい**ということです。昼間と夜があるように、この世には、陰の部分と日が当たる部分があります。実は全てのことに陰と陽があります。皆さんにも長所と短所があります。この陰と陽、長所と短所は一体なのです。例えば、熱血な人は怒りやすいのです。おしとやかな人は優柔不断であったりします。おおらかな人は掃除が苦手な部屋がきたなかつたりします。ある人が異性を好きになりました。その時は相手の陽の部分しか見えていませんでした。しかし、つきあっているうちに、陰の部分がみえてきました。当然です。みんな、長所と短所、陰と陽を持っているからです。その時、その人が言った言葉が、「だまされた。」でした。好きになられた人はきょとんとしました。その人は全然変わっていないのに、一方的に好きになられたと思ったら、その後、一方的に振られました。私が言いたいのは、“陰も陽も見なさい。全体を見なさい”ということです。人も物事も良いところだけというのは、まず、ありえません。欠点も見て事に当たってほしいと思います。

二つ目は**「比べてしまうこと」をやめましょう**ということです。ある中学生が、「並木中等の生徒は頭が良くていいよ。悩みなんてないよな。」と話をしました。皆さんどう思いますか？並木中等の生徒も勉強で悩んだりしていますよね。このように、上には上があり、比べて勝っていても、さらに上がいて新たな悩みになるのです。だから、比べない。自分は自分と割り切ることです。

三つ目です。**悩みを消そうとしないで、上手につきあいなさい**ということです。悩みを無くそう、消そうとすると悩みが深くなります。時には悩みの悪循環を起こします。悩むことを短所にする人もいますが、悩みは悪いことばかりではないのです。悩みがあるから、新たな気付きに出会えることもあります。決して短所ばかりではないのです。まず、悩みはみんなにあることを理解してください。私だけが不幸ということはありません。人それぞれに、それぞれの悩みがあるのです。そこで、悩み深いと思う人にアドバイスです。悩み方を考えてみたらどうでしょうか。すべて思い通りになることを理想としていませんか。これを逆にするのは、まず、思い通りにならないことがあって当たり前と考えてください。悩みとつきあっていくのが自分のスタイルだと思って生活をしてください。**私は私、悩みも多いけれど、いいところも変なところも一杯ある**。まあ、このような私だけどつきあってあげようと思ってください。ありのまま、あるがままのあなたで良いのです。悩んでいてもいいのです。「ああ、今日も悩んでいるなあ」と思ってあげてください。

4月には新年度です。悩みもあると思いますが、良いこともあるでしょう。一日一日、良い生活をしてください。

本号をもちまして並木中等 story は最終回になります。ありがとうございました。